



山重っ子



校訓「やさしく かしこく たくましく」

各行事を通した成長を目指して

校長 有村 修一

44日間の夏休みを終え、暑さの残る中で始まった2学期も1か月が過ぎ、まもなく10月を迎える時期になりました。10月5日（日）の運動会に向けた練習や準備に取り組む姿にも熱が入ってきました。当日も、全力で取り組む子供たちの姿が見られることを期待して指導していきます。熱中症には、くれぐれも注意して取り組ませていきます。

2学期は、多くの行事が計画されており、楽しみでもあります。異学年の活動を通して、互いを思いやる心も育てていきたいと思います。子供たちの心身の成長を見守り関わっていきます。保護者の皆様には、何かとお願いする機会が多くなると思いますが、御協力の程、よろしくお願いします。

「見守り隊」による除草作業

今年度2回目の国道の除草作業を9月28日（日）に行っていただきました。道路端や歩道に伸び広がった雑草を丁寧に刈り取り、回収する作業を通して、通学路の状況を確認することができました。宇都中校区の学校運営協議会では、通学路の除草作業についても意見が出されました。歩道に生えた雑草が広がっているため、それを避けて歩くために道路側に広がっている事例や、苔に乗って滑って転倒した事例等があることを聞きました。山重校区では、年2回行われる作業で、子供たちの安全な登校が確保され、温かく見守っていただいていることを実感しました。御協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



全国学力・学習状況調査の結果から

今年1月に5年生児童を対象にした「鹿児島学力・学習状況調査」は、CBT方式による形式に変わり、タブレット上で操作する形式でした。調査の様子を見ていると、戸惑うことも多かったと思います。そのような状況ではありましたが、調査結果は、実施した国語・社会・算数・理科の4教科とも本市の平均を上回る結果でした。

この5年生が6年生に進級した4月に、「全国学力・学習状況調査」を従来の記述式で受けています。調査結果については、実施した国語・算数・理科の3教科で、県・市の平均を上回る結果になりました。

今後、この調査もCBT方式に移っていくと思われます。タブレット上で回答に慣れる必要がありますが、書かれている問題文や文章を正確に読み取り、問われていることは何か、内容を理解し回答することに変わりはありません。基本になることは、何なのかを考える必要があります。教科書やプリント上で、文中にラインを引いたり、必要な数字や言葉を○で囲んだり、ノートに書き出したりしながら、内容を整理し、自分で解決の方法を考えることは変わることなく身に付けてほしいと思います。課題を見付け、解決のためにどんな方法で行うか、自ら考える力をもつことが、今後さらに必要になると思われます。

そのような力を付けるためには、日頃から「文章を読む」ことに慣れ親しんでおくことです。動画を見たり音声を聞いたりする方法もありますが、文字を読み、内容を理解することが、主体的な学習態度を育て、「自ら考える」力を付けることになると思います。学校で進めている読書活動が、それに繋がるものです。おおいに本に親しんで、考える力を付けてほしいと思います。